

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	0403	民俗芸能伝承支援事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
民俗芸能の伝承

《事業開始の背景》  
民俗芸能後継者の育成を図り、また、市民が親しく民俗芸能に接し、理解を深め、保存伝承活動の地域への定着支援のため、民俗芸能発表機会創出の事業を始めた。

《事業概要》

- 鑑賞会事業の開催  
花巻市郷土芸能鑑賞会  
花巻市青少年郷土芸能フェスティバル  
古民家活用郷土芸能鑑賞会  
早池峰岳神楽公演
- 民俗芸能全国組織への加盟  
全国民俗芸能保存振興市町村連盟（加盟全国165市区町村、花巻市長が副会長職を務める）

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

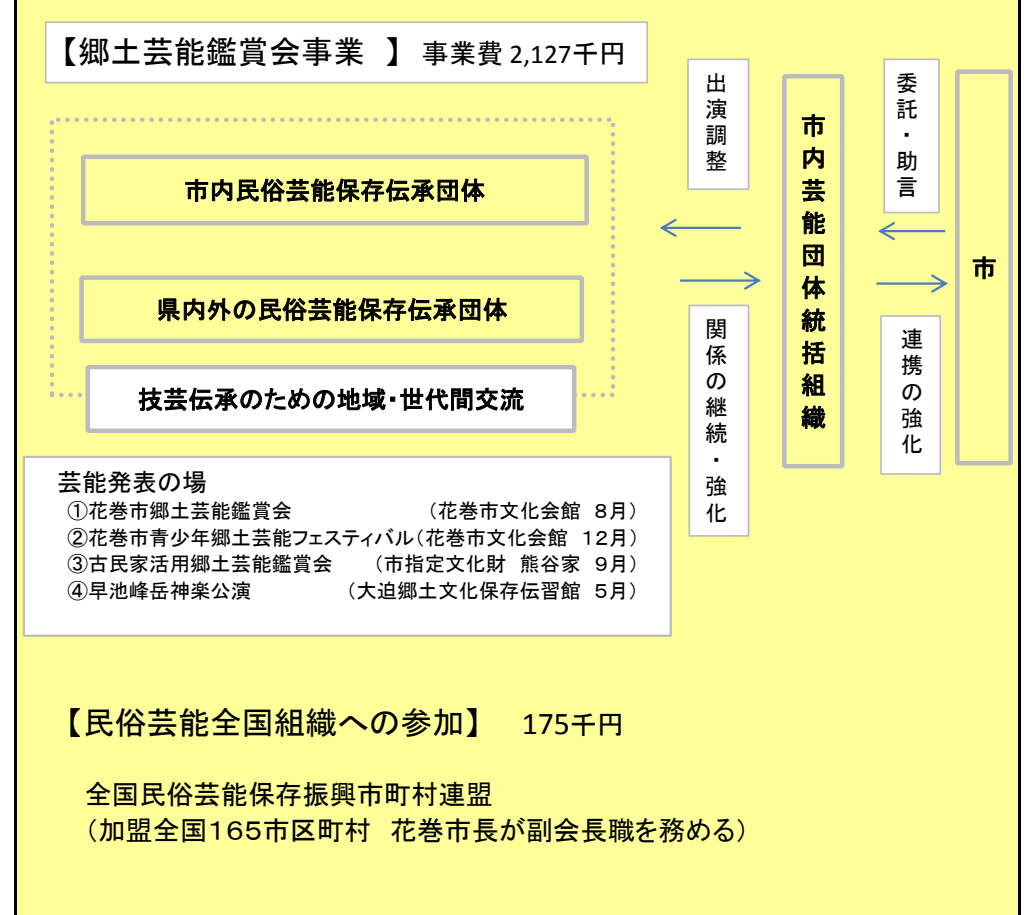
《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 郷土芸能公演事業の入場者数	人	目標	1,800	1,800	1,800
		実績	1,580	1,500	
② 指定無形民俗文化財の数（維持保存されている数）	件	目標	55	55	55
		実績	55	55	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	文化財課	大内典子	9-30-353

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		2,302				
財源内訳	国庫支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,302				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	0403	民俗芸能伝承支援事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	創造性豊かな芸術文化の振興
	4		4-4	
目的	民俗芸能の伝承			
対象	民俗芸能を伝承する団体及びその伝承者、後援会等の支援者、地域住民			
意図	伝承者育成を支援し芸能の保存と人の定着を図る。鑑賞会事業は練習成果を発表する場として保存意欲の向上につながる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○鑑賞会事業の開催  
 花巻市郷土芸能鑑賞会  
 花巻市青少年郷土芸能フェスティバル  
 古民家活用郷土芸能鑑賞会  
 早池峰岳神楽公演

○民俗芸能全国組織への加盟  
 全国民俗芸能保存振興市町村連盟（加盟全国165市区町村、花巻市長が副会長職を務める）

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input checked="" type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input checked="" type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 郷土芸能の公演事業数	回	計画	4	4	3
		実績	4	4	
② 地域づくり交付金により郷土芸能の支援を行っている地域コミュニティ会議の数	地区	計画	27	27	27
		実績	15	15	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 郷土芸能公演事業の入場者数	人	目標	1,800	1,800	1,800
		実績	1,580	1,500	
② 指定無形民俗文化財の数（維持保存されている数）	件	目標	55	55	55
		実績	55	55	
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

・花巻市郷土芸能鑑賞会に、東日本大震災により被災した大船渡市から門中組振興会「虎舞」を招き、交流を行った。  
 ・地域コミュニティにおいても、郷土芸能が地域振興の一翼を担うものとして、積極的な活動支援が行われている。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

民俗芸能団体から、東日本大震災により被災した沿岸地域の民俗芸能の支援として、鑑賞会事業等を通じ交流を行いたい。衣装の経費に係ることから、補助制度のあるところを教えてくださいという要望があった。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市内各地域の民俗芸能団体や、学校教育の一環として郷土芸能を積極的に取り入れている小学校があるが、練習成果を発表する機会が少ない。このことにより継承者の意欲低下が危惧されることから、市が、鑑賞会事業を主催し、発表の機会を増やすことによって保存と育成の支援を図る
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	地域コミュニティ会議や小中学校等が、積極的に芸能保持団体ならびに伝承者を支援することで、発表の機会の創出、保存意欲の向上につながる。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	市の人口が年々減少傾向にある中で、青少年による芸能伝承活動に対する積極的な支援が、地域発展の支えとなっていることから、経費の削減は地域コミュニティの沈滞を招き、市にとっても大きなマイナスイメージとなる。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	市の広報紙やホームページ、各地域の振興センターや公共施設等を通じ、公平な情報の提供に努めている。鑑賞会事業の出演にあたっては、地域バランスを考慮しながら市内各地域の民俗芸能団体に呼びかけを行い、公平性に努めている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

・例年行われている鑑賞会事業は、委託事業によって遂行し、好評価を得ている。  
 ・早池峰岳神楽公演については、大迫郷土文化保存伝習館で、岳神楽保存会及び岳地区との共同により開催し、芸能の伝承支援のみならず、地域振興にも寄与している。

[課題]  
 ○郷土芸能の後継者の減少理由として、少子高齢化・会社が休みにくい状況、地域との繋がりの希薄さ、衣装代の自己負担等、様々な課題が挙げられている。